

「南種子町下中校区における伝統芸能の伝承活動」

1 学校名

南種子町立花峰小学校

2 学年・人数

全校児童：8人

3 日時・場所

(1) 学習会等の日時・場所

平成28年 9月 5日 花峰小学校体育館・・・ヤートセイ

平成28年 9月10日 花峰小学校校庭・・・ひょうたん踊り

平成28年11月27日 花峰小学校体育館・・・御田植え唄

※ 講師に依頼しての練習は以上であるが、朝の活動や昼休み時間などを活用して何度も練習に取り組んだ。

(2) 発表の日時・場所

平成28年 9月18日 花峰小学校校庭（運動会）

ひょうたん踊り・ヤートセイ

平成28年10月15日 八幡神社（八幡神社大祭）

ひょうたん踊り

平成28年12月 2日 福祉センター（種子島民謡伝承活動発表会）

御田植え唄

平成29年 3月 5日 八幡神社御田（御田植え祭り）

（予定） 御田植え唄

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

奉納踊り「ヤートセイ」「ひょうたん踊り」

（ほうのうおどり「やあとせえ」「ひょうたんおどり」）

下中八幡神社御田植え祭り

（しもなかはちまんじんしゃおたうえまつり）

(2) 由来

下中八幡神社は、花峰小学校区全体の氏神で、毎年3月はじめに、御神田で御田植え祭りが行われる。この祭りは、田植え唄にあわせて、子供たちが昔ながらの手植えで御田植えを行うことに特徴がある。

また、秋になると、人々は豊作に感謝し、下中八幡神社に伝統芸能である「ヤートセイ」、「ひょうたん踊り」を奉納する。これらの伝統芸能は、花峰の小学校区（下中校区）に江戸時代から伝承する貴重なものである。

(3) 構成等

御田植え祭りは、下中八幡神社の氏子総代を中心として行われ、奉納踊りは、校区民全てが参加し、行われてきた。しかし、近年、過疎高齢化が進む中、これらの伝承が途絶えがちとなっていた。そうした状況を受け、次の世代に校区が誇るこれらの伝統文化を伝えたいと、花峰小学校児童への伝承活動が学校と地域が連携して継続的に行われている。

5 保存会や地域との連携の具体

ヤートセーの練習は創意の活動の一つとして年間計画に組み込み、下中の老盛会の皆様に御指導をいただきながら練習をしている。ひょうたん踊りは、土曜授業を活用して代々「歌い手」「踊り手」「太鼓たたき」が継承されているので、その方々を指導者としてお迎えし、講師となってもらっている。御田植え唄についても、伝承者の方を講師に迎え、指導していただき、御田植え祭りで披露するだけでなく、国民文化祭などでも披露してきた。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

「ひょうたん踊り」と「ヤートセー」については、校区民皆が親しんできた伝統芸能だけに運動会で子供たちの「ひょうたん踊り」を堪能したあとは、参加者のほとんどがグラウンドに出てきて「ヤートセー」を若者から御年配の方まで一緒に踊ってくれる。それぞれの伝承者の方々も何とか後世に残したいという強い気持ちをもっていらっしゃるので、仕事の合間を縫って熱心に指導にあたってくださっている。また、下中にある八幡神社も校区を挙げて皆で守り続けていこうという深い思いがあり、神社の掃除やその周辺の手入れ等にも余念がない。それだけに、御神田で行われる御田植え祭りや神社での大祭などの行事にもたくさんの方々が駆けつけている。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



花峰小・下中地区合同秋季大運動会
ひょうたん踊り



下中八幡神社大祭
ヤートセー



種子島民謡伝承活動発表会
御田植え唄



下中八幡神社「御田植え祭り」
御田植え唄

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

御田植え唄をみんなの前で歌ったとき、最初は緊張したけど、あとから歌っているうちに緊張がほぐれていきました。だんだんと声も大きく出せるようになりました。たくさんの人に聞いてもらってうれしかったです。（地元児童）

わたしは、太鼓をたたきました。本番では太鼓の表と裏を間違ってしまったけど、歌う人に合わせて、速さを調節できました。思い切りうでをふって太鼓をたたくことができました。（留学生児童）

発表会にはたくさんの人が来ていたので緊張しました。でも、大きな声ではきはきと歌うことができました。他の学校の歌も聞いて、南種子町にはたくさんの民謡があるんだなあと思いました。（留学生児童）

郷土芸能や伝統行事には、その土地ならではの魅力がたくさんつまっている。子供たちとともに学習したり、体験したりする中で、自然とそのよさを誰かに伝えたいという気持ちになる。校区の方々と交流する機会も増え、教育活動に生かすことができた。実際、子供たちが、学習を通して地域の課題に気付いたり、人の温かさを感じたりしている。これからの社会を担っていく人づくりの観点からも意義ある学習活動である。（教師）

受け継いできた者の一人として、先達の思いをいかに多くの若者達につないでいくか、一つの課題にしている。地元の子供たちにはもちろんのこと、日本全国からやって来る留学生にも教えていくことで、少しでも伝統文化に興味をもち、第二の故郷を思い出すきっかけとなってくれればと願いながら指導にあたっている。（伝承者）